

平成 30 年度食品等物流改革高度化事業

花き物流システム高度化・
転換実証支援事業 報告書

平成 3 1 年 3 月

一般社団法人日本花き卸売市場協会

協会長のあいさつ

平成30年度「花き流通システム高度化・転換実証支援事業」の実施に当たり、鉢物生産者、卸売市場、運送業者、量販店及び学識経験者の皆様には格別のご協力を賜り、お陰様でここに報告書を取りまとめることが出来ました。衷心より感謝申し上げます。

花き卸売市場は、川上（産地）から川下（小売）にいたる物流の中間点に位置し、新鮮な花きをいち早く消費者の皆様にお届けすることが使命であり、そのためには物流の合理化が大きな課題であります。また、近年、トラックドライバー不足や物流コストの増大も大きな課題となっています。

こうした背景の下、日本花き卸売市場協会では、物流容器等の標準化、ICチップを活用した物流の合理化、市場取引に係る EDI（電子データ交換）化の促進を図り市場業務の改善に努めているところであります。

花き類のなかでも、鉢物類や苗物類は台車運搬が一般的ですが、品目・品種によって荷姿が違う上、流通に用いる運搬台車の形状が異なることから、仕分けに多くの時間を要し、トラックの積載効率が悪くなること等の課題を抱えています。

こうした課題を解決し、花き物流の高度化を図るため、平成30年度においては、複数の産地、流通業者、小売業者等の幅広い関係者の協力を頂き、流通に用いる台車の統一や共同出荷輸送等の流通システム転換に向けた社会実験を行いました。

この報告書は、この取組の成果を取りまとめたものです。花きの生産、流通、販売の関係者、研究・行政等の関係機関など花き産業にかかる幅広い皆様にご活用頂ければ幸いに存じます。

平成31年3月

一般社団法人日本花き卸売市場協会
会長 福永 哲也

目次

項目	ページ
I 概要…	1
II 花き市場の現状…	2
III. 花き物流システム高度化委員会とその活動について…	16
IV. 台車の規格統一について…	20
V. 台車の IC チップでの管理…	24
VI. ソースマーキングについて…	25
VII. システム開発について…	30
VIII. 実証試験と結果…	32
ix. 輸送業者が集荷拠点を活用した効率的な集荷出荷体制の構築…	38
X. 総合考察…	41